

韓国における東北日本酒 プロモーション事業

-アンケート結果-
(2014年度)

事業概要 – 1

1) 事業概要

2015年 東北日本酒プロモーション及びアンケートは、2014年 九州日本酒プロモーションにつづく開催2度目のイベントで、東北地域の各県（福島、秋田、宮城、青森、岩手、山形）から日本酒の銘柄を各1種類ずつランダムに決めて、試飲調査を行った。

今回のプロモーションのポイント

1. 韓国の消費者に東北の日本酒を紹介
2. 日本酒のランクと嗜好の関係性の調査
3. 原発事故による東北の日本酒への印象調査

事業概要 - 2

2) プロモーション会場の概要



“幸せなオタク”



- ◇ 設立：2013年3月
- ◇ 店舗数：20店舗
- ◇ 取扱商品：ビール（瓶&生）
・日本酒・焼酎

◇ 年間売上高：65億ウォン

◆プロモーション会場◆

ホンデ店 2、3階

20代の若者たちが集まる地域で、店内にフィギュアが多く陳列されており、日本に関心の高い若者たちが集まる。

客一人当たりの単価は低い方。

事業概要 - 3

3) プロモーションの様子



アンケート調査結果 - 1

1) アンケート方法

日本酒をAグループ、Bグループに分けて調査。

	日本酒名	酒類	味	生産地
Aグループ	日本酒①	吟醸	甘口	秋田県
	日本酒②	純米酒	中間	宮城県
	日本酒③	本醸造	辛口	青森県
Bグループ	日本酒ア	吟醸	日本酒度 5	岩手県
	日本酒イ	特別純米酒	日本酒度 0	福島県
	日本酒ウ	本醸造	日本酒度 3	山形県

それぞれの日本酒が注がれている 3 杯の酒を試飲し、本人が一番美味しいと感じた酒と、一番高価だと思われる酒を選んでもらう。



アンケート調査結果 - 2

2) アンケート結果

質問1. 性別

性別	人数
男性	70
女性	80
計	150

質問2. 年齢

年齢	人数
20代	107
30代	33
40代	10
計	150

アンケートの回答者は150名で、そのうち男性は70名、女性は80名であった。
年齢別では、20代が107名（約70%）と、大多数であり、30代が33名、40代が10名であった。
これはアンケートを実施した場所がホンデという若者中心の地域であったためである。

質問3. 日本酒を飲んだことがありますか？

日本酒を飲んでみたことがあるか	人数
はい	131
いいえ	19

参加した150名中131名が日本酒を飲んでみたことがあると答え、87パーセントと大多数の参加者が日本酒を飲んだ経験があることがわかった。

アンケート調査結果 – 3

質問4. 飲んだお酒の中で最も美味しいと思ったお酒はどれですか？

美味しいと感じた酒 (Aグループ)			
性別	日本酒①	日本酒②	日本酒③
男性	8	14	7
女性	9	16	25
計	17	30	32

Aグループでは、一番おいしいと答えた酒は日本酒③が32名、日本酒②が30名であった。日本酒③は、Aグループの酒を飲んだ50パーセントにあたる女性25名から支持された。

美味しいと感じた酒 (Bグループ)			
性別	日本酒ア	日本酒イ	日本酒ウ
男性	11	12	18
女性	10	11	9
計	21	23	27

Bグループでは、一番美味しいと答えた酒は日本酒ウ（本醸造）が27名と、ほかの酒を選んだ23名、21名と僅差であった。

アンケート調査結果 - 4

質問5. 飲んだお酒の中で最も値段が高いと思われるお酒はどれですか？

高価だと思う酒 (Aグループ)			
性別	日本酒①	日本酒②	日本酒③
男性	3	23	3
女性	11	25	14
計	14	48	17

Aグループが試飲した日本酒の中で、一番高価だと思う酒は、日本酒②が48名で圧倒的であった。正解の日本酒①を当てた回答者は14名で、全体の18%にとどまった。また、美味しいと感じる酒と高価だと感じる酒が一致しない回答がみられた。

高価だと思う酒 (Bグループ)			
性別	日本酒ア	日本酒イ	日本酒ウ
男性	12	19	10
女性	11	5	14
計	23	24	24

Bグループでは、一番高価だと感じる酒は日本酒イが24名、日本酒ウが24名、日本酒アが23名とそれぞれに分かれた。美味しいと感じる酒、高価だと感じる酒ともに票が分かれる結果となった。

アンケート調査結果 – 5

質問6. 日本酒について何か要望はありますか？

日本酒に望むこと	男性	女性	計
特になし	8	7	15
味	22	20	42
価格	36	50	86
その他	4	3	7

日本酒に望む点は、価格がもう少し低ければいいという意見が86名と、一番多かった。その次は味が42名であった。

他には「瓶やラベルのデザインがもっと良くなればいい」「種類が多くわかりにくいので、ワインのようにわかりやすいラベル表示にしてほしい」というも意見があった。

アンケート調査結果 – 6

質問7. 日本の原発事故の影響について、何か気になりますか？

原発事故の影響を気にするか	男性	女性
はい	32	50
いいえ	38	30

原発事故の影響を気にするかとの質問に、82名（約55%）が「気にする」と答えており、性別では男性では約46%であるのに対し、女性では63%が「気にする」と答えた。これからも、女性のほうが原発事故の影響に敏感であることがわかる。

質問8. 福島県産の日本酒（福島県の米でつくるお酒）は、原材料の米を全て放射能検査してからつくっていることを知っていますか？

放射能検査について	男性	女性
知っている	8	3
知らない	62	77

福島産日本酒の原材料である米については全量が放射能検査を受けているという事実について知っている人は7%（11名）にすぎなかった。

アンケート調査結果 – 7

質問9. 日本酒に対して持っているイメージについて、自由に書いてください（自由記入）

- （価格が）高い
- 美味しい
- 二日酔いしない
- 飲み口がやわらかい
- 熱燗で飲める
- すっきりしている

という意見が多かった。

これ以外には
高級感がある。香りが良い。独特な風味である。
飲みすぎてしまう。混ぜて飲むと悪酔いする。種類が多くてわかりにくい。 などがあった。

アンケート調査結果 – 8

4) 東日本大震災の影響

アンケートの質問7.での原発事故の影響を気にするかとの質問に、82名（約55%）が「気にする」と答えていることから、韓国人の放射能汚染に対する懸念がうかがえる。

原発事故に対する不信感から福島産の日本酒を試飲するのを14名が拒否した。この14名の大部分は年齢層が高い人々であった。

また、「東北産の日本酒」と聞いたときは何も言わなかった参加者が「福島産の日本酒」とあるという、放射能汚染に対する懸念からか、「本当に大丈夫か」「放射能検査の基準はどんなものか」「日本国内での福島産農産物への反応はどうか」「健康被害の実情はどうか」「現在の福島の復興具合はどうなっているのか」といった質問が出た。

若い年代の参加者は、一般の韓国人よりも日本に好意的であり、日本文化を理解しようとする姿勢がみられた。

反面、質問8.での福島県産の日本酒は、原材料の米を全て放射能検査してからつくっているのを知っているかという質問に対して、7%の11名のみが「はい」と回答したことを考慮に入れると、まだまだ福島県産の農産物への理解は広がっていないものとみられる。

考察

アンケート実施結果考察

アンケートの結果、Aグループでは辛口の日本酒③、中間の日本酒②に人気が集中した。

一番高価だと思う酒についても、実際に最も高価である日本酒①が一番少ない票を受けたことを考えあわせると、ランクは嗜好に影響を与えず、今回の参加者には甘口があまり好まれなかったことがうかがえる。

Bグループの結果は、一番美味しいと思う酒、一番高価だと思う酒ともに票が分かれており、これからも日本酒度の違いや価格の違いと好みに明らかな関係性はうかがえなかった。

日本酒の嗜好に関するアンケート調査の結果、AグループとBグループの回答を集計すると、参加者が好みの酒を選ぶのに酒のレベルは大きな影響を与えなかったことがわかる。また、高価だと感じる酒が、必ずしも美味しいと感じる酒と同じでなかったこともわかる。

結果的に、今回のアンケート調査では、参加者の好みは辛口～中間が好まれた。また本醸造や純米酒が吟醸よりも人気が高かったのは、若い世代が比較的価格の低いパック酒に慣れていたため、飲みやすさ、口当たりの良さを好んだのではないかと思われる。

今回のアンケートの結果は、開催場所と年齢層を考えると、一般の韓国人よりも日本に好意的であるという点、またゲーム方式のイベントで行われた点を考慮に入れる必要がある。